



共感力と想像力で相談者に寄り添い 困難から“きぼう”へ導く法律事務所



上野きぼう法律事務所

〒110-0015

東京都台東区東上野 3-13-5

深谷ビル 501

URL <http://tojo-law.com/>

Company data

弁護士 東城 輝夫

東京都出身。学生時代に東京地検特捜部の活躍を目にしたことがきっかけで検察官を目指す。司法修習修了後は検察官として5年ほど勤め、自らの適性を鑑みて弁護士に転身。福島県の法律事務所で経験を積み、2012年に福島市で開業する。2016年、出身地である台東区へ移り、上野きぼう法律事務所を開所した。

Personal data



矢部 東城所長は福島県で開業され、2016年に地元である東京に戻ってこられたそうですね。どういったご縁で福島県にお住まいだったのですか？

東城 司法修習生の頃に指導担当だった恩師が福島県で法律事務所を営まれており、その方の元で様々な経験を積ませて頂きました。そして2012～2016年まで、福島でお世話になった方々へ恩返しをする気持ちで開業していたんです。

矢部 2012年という、東日本大震災の翌年にあたりますね。

東城 はい。福島は弁護士の数が少ないこともあって、当時は原発事故の損害賠償請求などの対応に追われました。報酬を得ずに相談に乗ることも度々あり、公私の区別なく走り回っていたものです。そうした中、政治や経済、司法制度そのものに対して不条理を感じるような経験を重ね、次第に社会に対して失望感を抱くようになりまして…。

矢部 全ての被災者が願った通りの補償を受けられたわけではなかったでしょうから、所長が世の理不尽を感じられたのも無理はありません。

東城 ですが昨今、世界全体に不穏な空気が広がっているのを感じていて、その中で社会や子どもたちのために何ができるのかを改めて考え抜いた末に、自分が

生まれ育った東京で活動することに決めました。「東京へ帰る」と福島の方々に告げたと、多くの方から激励を頂き、本当に嬉しかったですね。

矢部 皆さん、東城所長へのご恩を感じていらしたのでしょうか。

東城 多くの人の支えでここまで来られた身として、私は弁護士の仕事を通して世の中へ恩返しすべきと思っています。困難に直面された方を支えることで、その方が再び社会に希望を見だし、生産的な活動を行えるようになることが私の望みです。

矢部 相談者の方と接する上で、特に心がけておられることは何でしょう。

東城 「人としての共感力」を大事にすることです。特に難しい案件の場合、教科書に書いてあるような通り一遍の対応

では解決しません。そんなときに相談者様の気持ちにしっかりと寄り添えれば、「この方のために頑張ろう」と、問題解決の糸口を見いだすことができます。

矢部 お話ししていても所長からは温かみを感じますし、相談者の方も自然と心を開けるような気がします。

東城 ありがとうございます。この先、どのような依頼が増えるかは未知数ですが、福島在住時代には震災関連の仕事や困難クレームの対応、コンプライアンス対応など幅広い案件を取り扱ってきました。その対応力を活かし、困っていらっしゃる方を1人でも多く助けることで、社会に希望を増やしていきたいですね。今後より積極的な社会貢献活動を行うためにも、私自身さらに力を付けて、事務所を発展させていこうと思います。

Guest Comment

矢部 みほ (タレント)

対談中には奥様やお子さん、家族への感謝も口にされていた東城所長。法律事務所には時に、大きな問題に直面して行き詰まり、なす術もなくなった方が相談に訪れることもあるでしょうが、人のことを心から思いやっっている東城所長なら、そうした方たちの心の傷も癒せるのではないかと思います。

